



平成 21 年 12 月 15 日

記者配布資料

大阪経済記者クラブ会員各位

商店街・賑わいプロジェクト 「商店街フォーラム・大阪」の開催について

【お問合せ先】

大阪商工会議所 中小企業振興部
(松澤・堤)

TEL. 06-6944-6440

【概 要】

- 大阪商工会議所 流通活性化委員会（委員長：山本博史・(株)小倉屋山本 代表取締役社長）では、「商店街・賑わいプロジェクト」の一環として、「商店街フォーラム・大阪」を開催する。
- 同フォーラムでは、セッション1のテーマを、「商店街活性化新時代『人を集めるだけでは、モノは売れない』」とし、集客だけでなく個店の紹介や売上げ増加を実現する事業として、「商店街観光ガイドツアー」と「100円商店街」の2事業を採り上げ、そのノウハウや事例を紹介する。
- また、「商店街・賑わい読本」の第3号「商店街観光ガイドツアー事例編」、第4号「100円商店街」の2冊を同日付けで発行し、参加者に資料として提供する他、今回、初めて制作したDVD「商店街・賑わい読本 映像編」（「商店街観光ガイドツアー編」、「100円商店街編」）の2本も上映する。
- セッション2では、本委員会が実施する「大阪流通業界の近未来予想調査研究会」における検討内容について、同会の座長である石原武政（関西学院大学商学部教授）より中間報告する。
- セッション3では、「商店街、まち、連携と協働」をテーマに、大阪の心斎橋、アベノ・天王寺、なんば等で展開される商店街と百貨店などとの連携・協働事例について、その主体となっている百貨店、鉄道会社、商店街のキーマンより報告、ディスカッションする。

【開催概要】

日 時：平成 22 年 1 月 29 日（金）13 時 15 分～17 時

集合場所：大阪商工会議所 国際会議ホール（7 階）

参加費：無 料

申込み方法：会社・団体名、氏名、役職、電話、FAX を記載の上、大阪商工会議所 中小企業振興部流通担当 FAX（06-6944-6565）にてお申し込み下さい。先着順にて受け付けます。

<添付資料>

資料1. 「商店街フォーラム・大阪」の開催について

資料2. 「商店街フォーラム・大阪」に向けた作成資料等について

資料3. 大阪流通業界の近未来予想調査研究会について

資料4. 「商店街・賑わいプロジェクト」これまでの事業実施概要（掲載省略）

以 上

「商店街・賑わいプロジェクト」事業

「商店街フォーラム・大阪」の開催について

大阪商工会議所

1. 名称： 商店街フォーラム・大阪
2. 構成： (主催)大阪商工会議所 (後援)大阪府、大阪市
(協力)大阪府商店街振興組合連合会、大阪市商店会総連盟
3. 時期： 平成22年1月29日(金) 13時15分～17時
4. 場所： 大阪商工会議所 国際会議ホール
5. 参加費： 無 料
6. 次第：

13:15-13:20

主催者挨拶 大阪商工会議所 副会頭 佐藤茂雄 (京阪電気鉄道(株) 代表取締役CEO・取締役会議長)

13:20-13:30

「商店街・賑わいプロジェクトで商店街を元気に」

※商店街振興・活性化を目指し、大阪商工会議所が実施する「商店街・賑わいプロジェクト」の概要説明を行う
大阪商工会議所 流通活性化委員長 山本博史 (株)小倉屋山本 代表取締役社長)

13:30-15:00

セッション1 商店街活性化新時代「人を集めるだけでは、モノは売れない」

※商店街活性化に向け、これまで様々な事業が実施されてきました。しかし、イベントが個店の売上げにつながらない、人は集まっても売上げが伸びない、新規顧客が増えない、といった課題に直面しています。「商店街・賑わいプロジェクト」では、個店の店主や商品の魅力、対面販売の良さを伝えることができる新たな商店街活性化事業として、これまでに「商店街観光ガイドツアー」を、そして新たに「100円商店街」を提案しています。ここでは、各々の事業概要を映像で紹介する「商店街・賑わい読本映像編」を初公開上映するとともに、これまでに両事業を実施してきた関係者によるディスカッションを大阪市立大学大学院加藤司教授の進行にて行います。

事例1 「商店街観光ガイドツアー」

☆商店街・賑わい読本映像編 「商店街観光ガイドツアー」上映 (13:30-13:40)

☆ディスカッション 「お店、逸品のPRで商店街の活性化を」 (13:40-14:15)

※大阪商工会議所と共催で「商店街観光ガイドツアー」を実施した4商店街のご代表と商店街観光サポーターの早川厚志氏から、その意義、効果などにつき、それぞれのご意見をご披露いただきます。

- 大阪鶴橋市場商店街振興組合 理事長 東野博 ○三泉商店街振興組合 理事長 高橋和世
- 老松通り商店会 和泉裕子 ○黒崎東商店会 会長 青山隆一 ○まちづくり工房 代表 早川厚志 (コーディネーター) 大阪市立大学大学院 教授 加藤司

事例2 「100円商店街」

☆商店街・賑わい読本映像編「100円商店街」上映 (14:15-14:25)

☆ディスカッション 「100円玉の魔法で、商売繁盛」 (14:25-15:00)

※全国30ヶ所以上の商店街で実施される、100円商店街。「生みの親」である齋藤一成氏 (AMP代表)と、関西ではじめて100円商店街を実施した生駒駅前商店街連合会会長の稲森文吉氏、近鉄百貨店生駒店長の藤本悦司氏の3氏に、その事業の魅力、効果などについて語っていただきます。

- NPO法人AMP 理事長 齋藤一成 ○生駒駅前商店街連合会会長 稲森文吉
- (株)近鉄百貨店 生駒店長 藤本悦司 (コーディネーター) 大阪市立大学大学院 教授 加藤司

15:00-15:10 休憩

15:10-15:25

セッション2 近未来、大阪の流通業はどう変わる？

～大阪流通業界の近未来予想調査研究中間報告について～

関西学院大学商学部 教授 石原武政

※大阪の流通業が大きく変貌しようとしています。キタでは三越伊勢丹の進出、阪急阪神百貨店の建替え増床、大丸梅田店の増床、ミナミでは大丸心斎橋店の北館オープン、高島屋の増床、アベノ・天王寺では近鉄百貨店の建替え増床などが目白押しで、2014年の百貨店売場面積は、2008年時点と比較して約1.7倍もの規模に拡大する見込みです。大阪商工会議所では、「大阪流通業界の近未来予想調査研究会」を設置し、近未来において大阪の流通業はどう変化するか？人はどう動き、消費はどう変化するか？などについて検討を重ねています。その中間報告として、これまでの検討内容を関西学院大学商学部の石原武政教授（同研究会座長）よりご説明いただきます。

15:25-16:25

セッション3 商店街、まち、連携と協働

※商店街はまちとの関係抜きには語るできません。「商店街、まち、連携と協働」というテーマで、大阪で展開され、注目を集める事例を百貨店、鉄道会社、商店街のキーマンが語ります。

事例1 「まちの中の商店街と百貨店 ～大丸の心斎橋地域での取り組み～」

㈱大丸 取締役兼執行役員 営業統括室長兼大阪地区プロジェクト担当 小林泰行

※大阪を代表する商店街である心斎橋筋商店街。しかしながら、近年では商店街の空き店舗の増加や老舗店舗の撤退といった課題に直面している。同商店街の一員である大丸心斎橋店では、同店周辺の空き店舗においてファッションブランドなどを運営し、まちなみや商店街のイメージ、業種構成を守ることに力を注ぐ経営を実践しています。その戦略について、お話しいただきます。

事例2 「エリアイメージの向上で地域活性化を ～アベノ・天王寺での取り組み～」

近畿日本鉄道(株) ターミナル開発事業本部 企画調整部 部長 鉄谷守男

※あべの・天王寺地区の開発が大きく進展しています。2014年春に完成予定の阿部野橋ターミナルビルには売場面積10万平米の近鉄百貨店が入居する他、近隣地にはGMS（総合スーパー）や大型専門店も建設予定です。近鉄グループでは、同地域の魅力アップ、商業の活性化等にむけ、地域企業及び四天王寺、天王寺動物園、大阪市立美術館等と連携し、キャンペーン活動をスタートしました。その内容につき、ご説明いただきます。

事例3 「地域商業の連携・協働で地元を守る ～なんさん通りでの取り組み～」

なんさん通り商店会 会長 岡島立美

※なんさん通り商店会は、戎橋筋の南端から日本橋の高島屋東別館に至る、なんば駅前エリアの商店会。同商店会では、地域内の高島屋などと協働し、放置自転車、違反広告物等に指導や啓発を行う活動などを実施しています。また、2008年には「なんさん通り商店会活性化基本構想」を作成し、地域の駐輪場整備、電線地中化等の提案を行うなど、まちづくり活動を展開しています。その取り組みについてお話しいただきます。

16:25-17:00

☆ディスカッション 「商店街、まち、連携と協働のこれから」

○㈱大丸 取締役兼執行役員 営業統括室長兼大阪地区プロジェクト担当 小林泰行

○近畿日本鉄道(株) ターミナル開発事業本部 企画調整部 部長 鉄谷守男

○なんさん通り商店会 会長 岡島立美

(コーディネーター) 関西学院大学商学部 教授 石原武政

以上

大阪流通業界の近未来予想調査研究会について

大阪商工会議所

1. 趣 旨： 2012年の梅田北ヤードのまちびらき、それに前後して各百貨店の開店や大規模増床が相次ぐなど、大阪流通業界が大きな転機を迎えている。そこで、今後の大阪流通業界に関する近未来予想図を描き、会員等に情報提供等を行うことを目的として、同調査研究を実施する。

2. 構 成： 座 長 関西学院大学商学部 教授 石原 武政
委 員 大阪市立大学大学院経営学研究科 教授 加藤 司
関西学院大学商学部 准教授 石淵 順也
(株)シティコード研究所 代表 森田 博一
大阪商工会議所 理事・中小企業振興部長 森 清純
オブザーバー 大阪ガス(株)秘書部経営調査室副課長 森藤 晃仁
(事務局) 大阪商工会議所中小企業振興部流通担当

(敬称略)

3. スケジュール：研究会開催（7月14日、8月19日、10月13日、11月10日）
中間報告（1月29日）
最終報告（3月末）

以 上



商店街・賑わいプロジェクト
「商店街フォーラム・大阪」に向けた作成資料等について

1. 趣 旨：

- 大阪商工会議所では、地域商業の活性化支援を目的に「商店街・賑わいプロジェクト」を平成20年5月より実施しており、その一環として、平成22年1月29日に「商店街フォーラム・大阪」を開催する。
- 同フォーラムでは、「商店街観光ガイドツアー」、「100円商店街」の2事業を本所が展開する商店街活性化事業として紹介する予定であり、両事業への理解を深めていただくことを目的とし、下記内容の通り、「商店街・賑わい読本」(第3号、第4号)及び「商店街・賑わい読本 映像編」(第1号、第2号)を作成し、平成22年1月29日のフォーラム当日に発表する予定。

2. 作成物：

(1) 「商店街・賑わい読本」(3, 4号)

第3号 商店街ガイドツアー編(商店街観光ガイドツアーの事例を紹介)

第4号 100円商店街編(100円商店街の概要説明及び事例紹介)

※なお、平成20年11月に「商店街・賑わい読本」の第1号(割れ窓理論編)、第2号(商店街観光編)の2冊を同時に発行した。

(2) 「商店街・賑わい読本 映像編」(1, 2号)

第1号 商店街ガイドツアー編(商店街観光ガイドツアーの事例を紹介)

第2号 100円商店街編(100円商店街の概要説明及び事例紹介)

3. 体 裁：

(1) 「商店街・賑わい読本」(3, 4号)

第3号：A4サイズ、カラー、全12ページ

第4号：A4サイズ、カラー、全8ページ

(2) 「商店街・賑わい読本 映像編」(1, 2号)

第1、2号共にDVD、収録時間は10分以内。

4. 発行・配布： 平成22年1月29日～

- (1) 「商店街・賑わい読本」は同フォーラム参加者全員に配布する。また、大阪市内の商店街・商店会、入手を希望する商店街関係者等にも送付する。
- (2) 「商店街・賑わい読本 映像編」は、100円商店街への取組みを予定する商店街関係者に配布する予定。

以 上